

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	豊丘村石造文化財データベースとマップ作成事業
事業主体 (連絡先)	豊丘村 0265-35-9066
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,847,400 円 (うち支援金: 1,359,000 円)

事業内容

豊丘村の石造文化財の悉皆調査を行い、位置、写真、種類、碑表文字などを取り込んだデータベースを整備した。データベースをもとにガイドマップ「豊丘わくわく探検マップ石仏編」を作成した。

また、石造文化財の講演会を開催し、公民館はもとより公民館分館役員、史学会員、一般村民など石造文化財を学ぶ機会を作った。



【現地を調査】

【目標・ねらい】

- ①石造文化財データベースの構築
- ②石造文化財の認知度UPと次代へ繋げる資料
- ③歴史探訪、講演会、サイクリングコース、学びを通じて文化的価値を再評価する。

事業効果

- ① データベースを整備したことにより、公民館分館、学校などの学習教材として、地区ごと、石造文化財の種類ごとの抽出が可能となった。
- ② ガイドマップは全村にどれぐらいの石造文化財があるかを赤いドットで落とし数多くあることを表した。石造文化財の種類ごとの解説、写真で示した。「地域の遺産、次代へ繋げる」当初の目的を表す形となり、幅広く活用できるものに仕上がった。
- ③ 講演会後に興味を示していただけの方が多く、今後の取り組みに書かせていただいた、次のステップに手ごたえを感じている。ただ、コロナ禍で中学生の学びの時間が取れなかったため次年度以降機会を考えていきたい。

※自己評価【 B 】

【理由】

今回は基本となるデータベースづくりと多分野で活用できるマップ作りの整備であった。次年度以降、講演会、小中学生の学習、地域での探索などで活用して目的にある次代への継承へ繋がっていく活動を目指す。

今後の取り組み

- ・令和4年度豊丘村資料館特別展にて石造文化財を取り上げる予定です。資料館と共同で調査の成果を展示する。
- ・令和4年度公民館学習会(受講者70名)の一コマで石造文化財調査事業の事業報告と特徴的な石造文化財を発表する。
- ・道の駅ボンシャンスサイクルベースと公民館にて石造文化財巡るルート作りとガイドボランティアの育成の計画。
- ・データベースは村の地図情報システムGISに納まっているので容易に誰もが利用できる形ではない。今後、誰もがデータを見れるようグーグルマップ上に載せるなどの検討。